



# 令和6年度 平館高等学校 教職員働き方改革アクションプラン

～感謝・あいさつ・笑顔の平高～



平館高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現状

### [定量的現状]

- 「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」目標達成状況について「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」
  - ・R3年度:0人、R4年度:0人、R5年度:0人 ※目標達成
  - 「時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を縮減する。」
  - ・R3年度(月45h:15名・年360h:15名)、R4年度(月45h:9名・年360h:11名) R5年度(月45h:10名・年360h:12名) ※R4～R5で縮減はならなかった。

### [定性的現状]

- 教職員の意識
  - ・当校で推進する「定時退庁日」の取組を意識した働き方が浸透している。
  - ・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
  - ・ICTの活用による業務軽減等率先して行っている。



## 2 目標・目指す姿

### <R6年度目標>

- 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に掲げるR6年度の目標の達成。
  - (1) 時間外在校時間が月80時間以上の者をゼロにする。
  - (2) 時間外在校時間(週休日等の部活動指導従事時間を含む)が月45時間超、年360時間超の者を段階的に縮減する。

### <目指す姿>

- 教職員一人一人が、専門性を高め、やりがいを持って仕事に従事している。
- 教材研究や専門性を高めるための時間や生徒と関わる時間が十分確保されている。
- 教職員一人一人が、お互いを尊重できる明るく優しい職場である。
- 管理職と職員が日頃から信頼関係を築き、一人一人が自己肯定感を感じながら業務に取り組んでいる。
- 問題解決への見通しを共有し、同僚性や協働する力により、心と身体の健康状態を保ちながら業務を推進している。
- 教職員が、自分の家庭のための時間を十分に確保できている。
- 教職員が自分自身の自由な時間を確保できている。

## 3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

### ○ 教職員の健康管理

- (1) 管理職が、年次休暇・特別休暇取得及び振替・特割の申請について積極的に声掛けをします。
- (2) 長時間の時間外勤務が継続している教職員に対して、健康確保の観点から、面談をします。
- (3) 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。
- (4) 管理職に悩み事が気軽に相談できるよう、相談日の設定やICTを活用しての相談窓口を設けます。

### ○ 学校における業務改善の推進

- (1) 管理職が、行事の精選について積極的に提案します。
- (2) 外部人材を活用することで、業務の効率化と負担軽減を図ります
- (3) 無駄を省き、業務分担の適材適所を進め、常に業務の改善を図ります。
- (4) ICTの活用による業務の合理化を図ります。
- (5) 夏季休業中にサマータイム(8:00～16:30)を運用し、退庁後の自分のための時間を確保します。

### ○ 業務の明確化・適正化の推進

- (1) 地域との協働に関する業務について、役割分担の適正化を図るよう関係団体との協議を進めます。
- (2) 働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう学校HP等で周知を図ります。
- (3) 休日の部活動については、部活動指導員や外部コーチの協力をいただきながら適正に実施します。

### ○ 令和6年度重点取組事項

ICT学習支援ツールの導入により、教材作成や採点業務、課題作成・回収業務の負担軽減に取り組みます。

## 4 アクションプランの周知方法

- プランを学校HPに掲載し、関係者への周知を図ります。
- PTAの集まりや地域の会合等で、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。